

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

令和4年10月14日



文責 内海忠裕

令和4年度全国学力学習状況調査の結果から
～調査問題（国語・算数・理科）から見えてきたこと～

週1～2回更新中。
ぜひご覧下さい。

令和4年度全国学力学習状況調査の結果が公表され、本校の課題と今後の対応について取りまとめましたのでお知らせします。

この調査は、児童生徒の学力の一部を調査し、その状況を把握・分析することで、よりよい指導方法の工夫や取組の改善を進めていくことを目的としています。

8～9月にかけて調査問題と質問紙の結果を全教員で分析し、10月から全校で授業改善および生活習慣定着などの取組に取り組んでいる所です。

「学校の力」「家庭の力」が、子どもの学力や学力を支える非認知能力を伸ばすといわれていますので、保護者の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

調査結果

	国語	算数	理科
全国との比較	努力が必要	努力が必要	努力が必要

◆全学年の授業で重点的に取り組んでいくこと

- 1 「考え（主張）・根拠・理由付け」をセットにして表現させる。
- 2 「比較・分類・関連付け」の思考の仕方を示し、考えを表現させる。

◆特に全国と比較して正答率が低く、課題となる点と改善策

教科	本校の課題	分析結果と改善策
国語	読むこと 書くこと	<p>◆登場人物の相互関係について複数の叙述からとらえることができない。</p> <p>対策 比較・分類・関連付けの思考法で、内容理解を深める。</p> <p>◆文章に対する感想や意見を読み取り、その良さを具体的に説明することが（書くことが）できない。</p> <p>対策 他者の考えについて感想を持ったり、条件を付けて書いたりする活動を計画的に取り入れ、自己の考えを表現させる。</p>
算数	「変化と関係」の領域	<p>◆複数の資料から読み取り、問いに正しく解答できない。</p> <p>対策 比較・分類・関連付けの思考法を、子どもが自由に使えるよう、考える視点を明確にして、取り組ませる。</p> <p>◆解き方や根拠など自分の考えを書くことができない。</p> <p>対策 正しい算数用語の定着を図り概念理解を進めるため、キーワードを使って説明したり書いたりする活動を取り入れる。</p>
理科	記述問題	<p>◆複数の資料を関係付けて読み取り、必要な要素を選んだり、自分の分析や解釈をキーワードを使って書いたりできない。</p> <p>対策 他者との対話で、理科用語の理解促進を図り、論理的思考育成のため、「考え」「根拠」「理由付け」で書かせる。</p>

児童質問紙から見えてきたこと

項目	質問内容	弘道小%	全国%
国語学習	国語の勉強が好きな児童	73.0	59.2
算数学習	算数の勉強が好きな児童	75.6	62.5
学校生活	学校に行くのが楽しいと思う児童	91.9	85.4
教師との関係	先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う児童	100	87.1
話し合い	話し合う活動を通じて考えを深め広げていると思う児童	91.9	80.1
非認知能力	物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると思う児童（豊岡市独自調査）	95.0	
基本的生活習慣	毎日同じ時刻に寝ている児童	72.9	81.5
ゲームの時間	平日1日当たりゲームの時間が2時間未満の児童	83.8	49.8
SNSの時間	平日1日当たりSNS,動画視聴が2時間未満の児童	81.0	67.3
家庭学習時間	平日1日当たりの勉強時間が1時間以上の児童	62.1	59.4
読書時間	平日1日当たり30分以上読書する児童	43.2	36.4

【学校では】

- 仲間と一緒に目標を持ち、協働して最後までやり切らせる活動を大事にしています。
- 異年齢活動等を通して、やり抜く力、自制心、協働性等の非認知能力向上を目指します。

【家庭では】

- 寝る時刻、テレビ・ゲーム・SNS・動画視聴の時間に重点化し、家庭内で話し合ってルールを決め、守り切らせましょう。Noメディアの日などの取組で強化しましょう。

読み聞かせ（読書）で育てよう 豊かな心

読書好きな子どもは
意外と多い！

毎月、読書ボランティアの皆さんにお世話になり、読み聞かせの活動をしていただいています。「今日はどんなお話かな？」と、子どもたちはこの時間をとても楽しみにしています。読み聞かせが始まると、ボランティアの方の優しい声が響きます。子どもたちは絵本の世界へ浸っていきます。担任ではな

い「保護者・地域の方に絵本を読んでもらう」ということが、子どもにとってはとても新鮮で、より一層読書に近づく魅力なのかもしれません。

今回の調査では、「平日1日当たり30分以上読書する児童の割合」は、昨年度40%、今年度は43.2%と少し増加しています。一方で「読書が好き」と回答している児童は**本校では86.5%（全国73.1%）**おり、読書に親しむ機会を学校でも、家庭でも創ることがとても大事だと感じます。読み聞かせはそうした子どもの欲求を満たすものです。

読書ボランティアの皆さんのおかげで、毎月素敵な時間を創っていただいています。学校でも隙間の時間の読書や学校図書館の利用促進などに取り組んでいます。ご家庭でも、絵本の読み聞かせや市立図書館の利用など、本に親しんでみてはいかがでしょうか？



↑ 1年生は身を乗り出して聞いています。↑ 6年生も読み聞かせを楽しんでいます。